報告-1

2022年度（公社）日本地すべり学会　事業報告

1. 総務部

(1)行事

①通常社員総会の開催

・日時：2022年6月10日　11時00分～11時40分

・場所：学術総合センター内　一橋大学一橋講堂　中会議場2･3･4

・参加者数35名（会場9名,オンライン26名）委任状提出25名、書面議決提出6名（計66議決権）

・社員総会は、ハイブリッド形式で行った。

②理事会の開催

・2022年6月10日、9月26日、11月25日（ハイブリッド形式）

・2023年1月24日（電磁的方法による審議）

・2022年3月10日（オンライン形式）

・理事会は、ハイブリッドまたはオンライン形式で行った。

・2023年1月24日の電磁的方法による審議は、大会申込みシステムに関する契約に関して行った。

③執行部会の運営事務

・2022年5月6日、5月30日、8月2日、8月29日、9月13日、10月25日、11月8日、12月13日
2023年2月7日、2月28日、3月22日

・執行部会は、オンライン形式で行った。

④役員選挙の運営事務

・選挙管理委員会：(第1回)2022年12月14日、(第2回)2023年3月24日

・選挙公示：2023年1月17日、投票締め切り：3月22日、開票：3月24日

・当選者の決定・当選者の公示：2023年3月31日

(2)庶務

・社員総会、理事会及び執行部会に係る議事資料及び議事録の作成

・細則の改訂

2022年9月26日　理事会：表彰細則(委員長の選任方法の改訂、委員の任期の新規制定)

2022年11月25日　理事会：規則（選挙管理委員会の設置の改訂）

2022年11月25日　理事会：代議員選挙細則（選挙管理委員会の設置の改訂）

2022年11月25日　理事会：役員選挙細則（選挙管理委員会の設置の改訂）

(3)財務

・予算執行状況の確認

・決算書及び予算書の作成

(4)部会

・2022年12月14日　選挙管理委員会のスケジュール打合せ（team開催）総務部2名ほか2名

・2022年12月22日　表彰委員会の発足とキックオフ打合せ(team開催)総務部2名、表彰委員6名

・2022年　4月10日　事業報告作成に関する打合せ（メール打合せ）総務部2名、事務局1名

(5)地すべり学会活性化の企画案について各支部、各部打合せ(2023年3/2-4/17)をteam開催した。

・3月2日(木)10時「新潟支部」　渡部支部長ほか1、浅野副会長、飯沼総務部長

・3 月 3 日(金)13 時「研究調査部」　古谷部長、浅野副会長、飯沼総務部長
・3 月 3 日(金)15 時「関東支部」　新井場支部長ほか３名、浅野副会長、飯沼総務部長
・3 月 6 日(月)13 時「編集出版部」　岡田部長ほか 1 名、浅野副会長、飯沼総務部長
・3 月 6 日(月)15 時「国際部」佐藤部長ほか 2 名、浅野副会長、飯沼総務部長
・3 月 9 日(木)10 時「北海道支部」石丸支部長ほか 1 名、浅野副会長、飯沼総務部長
・3 月 9 日(木)13 時「中部支部」堤支部長ほか 3 名、浅野副会長、飯沼総務部長
・3 月 10 日(金)13 時「東北支部」大河原支部長ほか 3 名、浅野副会長、飯沼総務部長
・3 月 10 日(金)14 時　理事会での中間報告
・3 月 24 日(金)11 時「関西支部」太田支部長、飯沼総務部長
・4 月 17 日(水)11 時[九州支部]中村支部長ほか 3 名、浅野副会長、飯沼総務部長

2. 事業計画部

(1)第 61 回研究発表会及び現地見学会の開催
・2022 年 9 月 27 日～30 日にかけて福岡市の博多国際展示場＆カンファレンスセンターを会場とし、対面方式にオンライン配信を加えた形で開催
・参加者数：510 名（現地参加 405 名、オンライン参加 105 名）
・発表数：口頭発表 86 件、ポスター発表 31 件
・特別講演：9 月 27 日に 2 件の講演を実施
・県民講演会：9 月 26 日に 2 件の講演を実施
・現地見学会：9 月 30 日に 3 コースで実施
・新技術展示セッション：23 展示の実施．オンライン参加者向けにオンラインコアタイムを開催
・若手優秀発表賞の審査を実施（受賞者数：口頭発表部門 7 名，ポスター発表部門 4 名）

(2)2022 年度シンポジウムの開催
・2022 年 6 月 25 日に「人工斜面の安定度評価と維持管理」をテーマに実施。一橋大学一橋講堂およびオンラインによるハイブリッド開催
・講演数：5 件
・参加者数：189 名（会場 50 名・オンライン 139 名）

(3)部会の開催
・日　程：2022 年 4 月 15 日、5 月 27 日、8 月 10 日、9 月 29 日、12 月 20 日、2023 年 2 月 10 日
・2023 年度シンポジウムの準備
日程、開催方法、テーマ、話題、進行の検討
・第 61 回研究発表会の準備と総括、第 62 回研究発表会（岐阜大会）の準備
日程、開催方法、予算、運営、講演集、若手優秀発表賞の検討

3. 編集出版部

(1)日本地すべり学会誌編集委員会
①編集委員会の開催　2022 年 4 月～2023 年 3 月まで 12 回開催(月 1 回、全てオンライン会議)
②日本地すべり学会誌 Vol.59.3～6、Vol.60.1～2　計 6 号の発行
③特集号の企画・発行
・59(6)特集号「斜面対策施設の長寿命化と維持管理技術の進展」

・60(2)特集号「地震地すべりの新たな知見や防災・減災対策」

※当初予定していた59(4)特集号は応募原稿が無く，一般号に振り替えた

④シリーズ等の企画・連載

・ シリーズ：「新用語集　地すべりキーワード101」の連載継続

・ シリーズ：「地すべり探訪」の連載継続

・ 国際部によるフォーラムの定期掲載

・ 賛助会員による「わが社の技術」の継続

⑤日本地すべり学会誌電子ジャーナル(J-stage)の刊行

⑥技術報告賞および査読者賞の候補者の推薦

⑦投稿規定等の改訂

・文言の統一、文章の簡潔化、新投稿システムEditorial Managerへの対応

・上の修正を英語版にも適用

(2)出版委員会活動

①委員会の開催（2023年度事業計画に関するメール会議1回）

②出版企画の審査（出版企画の新規申請なし）

4. 研究調査部

(1)研究助成

・2022年度の助成案件（新規）は以下の1件である。

・埋もれ木の年代測定に基づく歴史的大規模土砂采配の再検証：池口崩れの事例　代表　山田隆二

(2)地すべり・土石流災害調査報告会

以下のようにハイブリット形式（会場（対面）とオンラインの併用）で開催した。

開催日時：2022年11月25日 15:00～17:00

会　場　：TKP新橋カンファレンスセンター　ホール14C

オンライン（Microsoft Teams を利用）

参加人数：150名（対面22名、オンライン128名）

プログラム：以下の通り。

開会あいさつ　古谷元（日本地すべり学会研究調査部長・富山県立大学）

調査報告　　司会：古谷元（富山県立大学）、柴崎達也（国土防災技術株式会社）

1) 2022年8月豪雨による新潟県下越地域の土砂災害

発表：西井綾子（新潟大学）

2) 2022年8月豪雨による青森県における土砂災害の発生状況

発表：鄒青穎（弘前大学）

3) 小松原地すべりの災害概要と対応

発表：井原一馬（長野県）

総合討論　　司会：古谷元

(3)研究委員会の活動

2022年度は以下の研究委員会活動を実施した。

① 斜面動態モニタリングデータに基づく崩壊発生予測研究委員会(代表：笹原克夫)

② 地震時地すべり研究委員会(代表：土井一生)

③ 雪氷圏の地すべり研究委員会(代表：岡本隆)

④　すべり面および移動体の物質科学・構造研究委員会(代表：中村真也)
⑤　地すべりブロックの設定に関する研究委員会（代表：林一成）
⑥　地すべり地形判読の先端的な技術伝承手法の開発研究委員会（代表：佐藤剛）
2023 年度の新規活動テーマの募集を行った。

(4) 研究調査部会
新型コロナ禍が継続していたために実施しなかったが，部会構成員を改訂した（2022 年 8 月 31 日）

(5) メール審議
・研究助成新規課題の審議（2022 年 4 月 28 日）
・災害調査報告会の実施について(2022 年 9 月 13 日)
・研究委員会新規テーマ公募と既存委員会の研究期間の延長（2023 年 2 月 10 日）

5. 国際部

(1)2022 年度会議
メール審議または遠隔会議とした。

①第 1 回 2022 年 7 月 15～19 日（メール審議：21 名出席）
・ITST（ベトナム交通省 交通科学技術研究所）への地すべり学会会長交代の挨拶状郵送

②第 2 回会議　2022 年 8 月 2 日（遠隔会議：10 名出席）
・P-LRT 投稿原稿の作業進捗状況の確認
・第 61 回（2022 年度）研究発表会におけるセッションの KLC2020 との関連づけ
・ICL 課題募集（IPL）への対応
・2022 年 11 月開催予定（京都）の ICL 運営委員会への対応
・学会誌「フォーラム／国際部」の執筆当番
・海外研究者の講演（遠隔）

③第 3 回会議　2022 年 9 月 28 日（遠隔会議：13 名出席）
・2022 ICL-KLC Hybrid Conference（於：京都大学，11 月 22～25 日）
・学会誌への「国際部フォーラム」投稿状況の確認
・海外研究者の講演会（オンライン）開催
・WLF5 で発表された E1～E5 のセッションからの P-LRT 投稿準備状況の確認

④第 4 回会議　2023 年 2 月 8 日（遠隔会議：11 名出席）
・2022 年度海外研究者による講演会（2023 年 1 月 6 日）の終了（報告）
・2023 年度事業計画と予算（審議）
・学会誌への「国際部フォーラム」投稿状況の確認（審議）

(2)活動内容
① 地すべり学会誌 2022 年 5 月，7 月，9 月，12 月号及び 2023 年 1 月，3 月号に記事「国際部フォーラム」を掲載し，Landslides 誌等に掲載の論文紹介の記事を掲載した。
② 海外研究者（ネパール，Ranjan Kumar Dahal 博士）の学術講演を 2023 年 1 月 6 日にオンラインで開催した（Dahal 博士を含め，最大で 34 名の参加）。
③ ICL の活動に関わる実施状況の確認と計画を審議した。

(3)その他の継続審議課題の検討
・新たな国際会議の企画、運営支援の可能性
・SATREPS に関連したシンポジウムの企画の可能性

・日本地すべり学会の出版物の ICL 経由の宣伝の可能性
・「斜面対策技術国際化委員会」との連携

6. 表彰委員会

(1)学会賞(論文賞・技術報告賞・査読者賞・研究奨励賞・谷口賞・国際賞・その他の賞)の審査

表彰委員会にて審議

・技術報告賞：齊藤雅志

・査読者賞：倉岡千郎

(2)理事会へ表彰委員会の審議結果を報告し審議：2022 年 5 月 13 日

(3)研究発表会の表彰式で表彰状授与：2022 年 9 月 27 日

(4)2023 年度の候補募集

・会員向けメール、学会誌(Vol.59、No.6)、及び学会ホームページで推薦公募
締め切り：2023 年 3 月 1 日

7. 解説委員会

災害発生時の緊急マスコミ対応や一般市民からの問合せなど、以下の案件に対応した。

案件	日付	依頼元	内容	主対応者
NHK の番組作成のための北海道の地質の成因の問合せ	2022/5/19	NHK	NHK「さわやか自然百景」という自然番組の番組作成のために北海道北部の遠別川流域の地質の成り立ちを知りたいという依頼。	石丸聡 檜垣大助
NHK の番組作成のための北海道の地質の性質の問合せ	2022/5/31	NHK	上記問合せの追加の問合せ。北海道北部の遠別川流域の地質の性質に関する問合せ。	石丸聡
NHK ワールド「BOSAI」における取材の依頼	2022/11/29	NHK	NHK ワールドの制作会社より依頼があり「LANDSLIDE（地すべり)」についての番組を企画中で、現地撮影ができる現場の紹介とインタビューを依頼された。関東周辺の地すべりとして国交省直轄の由比地すべりなどを紹介し、落合博貴氏が現地取材を担当した。この番組は 2022 年 2 月下旬に放送され、2 月 18 日～20 日の間にライブ配信された。	落合博貴 榎田充哉

8. 選挙管理委員会

(1)役員選挙

・2022 年 3 月に実施した役員選挙結果を、2022 年 6 月 10 日の社員総会にて報告

(2)委員の選任方法の変更

・2022 年 11 月 25 日の理事会にて、任期を 2 年間、かつ各支部から 1 名の委員を選任する方法へと変更された。

(3)代議員選挙の実施

・2023 年 3 月に、2023～2024 年度の代議員を選任する選挙を実施した。

9. 斜面防災技術国際化委員会

成果品原稿に関する推敲部会を以下の日程で計8回開催した。1回の推敲部会は原則２日間であるが、1 日目で推敲作業が終了することもあった。それぞれ 10:00～17:00 の時間帯に実施したが、各実施日の参加者は 4～6 名であった。

(1)第 15 回推敲部会(Web)：2022 年 5 月 10 日

(2)第 16 回推敲部会(Web)：2022 年 7 月 14 日～15 日

(3)第 17 回推敲部会(Web)：2022 年 9 月 21 日～22 日

(4)第 18 回推敲部会(Web)：2022 年 11 月 9 日、11 月 14 日

(5)第 19 回推敲部会(Web)：2022 年 12 月 20 日～21 日

(6)第 20 回推敲部会(Web)：2023 年 1 月 13 日、1 月 17 日

(7)第 21 回推敲部会(Web)：2023 年 2 月 13 日～14 日

(8)第 22 回推敲部会(Web)：2023 年 3 月 13 日～14 日

本委員会は 2023 年 3 月末をもって活動を終了する。2023 年 4 月からは名称を「斜面対策技術国際化委員会」と改めて、新たな活動を行う予定である。

10. 北海道支部

(1)総会

・オンライン投票による審議

・審議の日程：2022 年 4 月 28 日

・投票者：30 名(承認 30 名、否認：0 名)

(2)特別講演会

・日　　時：2022 年 4 月 28 日

・オンライン開催

・参加者：127 名

・特別講演：「地震地すべりの FEM シミュレーション」

(群馬大学　大学院理工学府　若井明彦　教授)

(3)第 1 回運営委員会

・日　　時：2022 年 7 月 28 日

・ハイブリッド開催

・参 加 者：30 名

・会議内容：2022 年度事業計画・実施状況、予算、会員状況、本部動向、その他

(4)第 2 回運営委員会

・日　　時：2023 年 2 月 8 日

・ハイブリッド開催

・参 加 者：27 名

・会議内容：2022 度事業報告・決算見込み報告、2023 度事業計画・予算(案)、本部動向、その他

(5)5 学会支部連絡会

・日　　時：2023 年 1 月 12 日　13:30～15:00
・オンライン開催
・参 加 者：7 名
・会議内容：参加者自己紹介、各支部（土木学会、砂防学会、地盤工学会、農業農村工学会、日本地すべり学会）の 2022 年度実績および 2023 年度活動概要、今後の連携に関する意見交換

(6)巡検部活動
・日　　時：2022 年 9 月 14 日
・開催場所：有珠郡壮瞥町　長流川流域　幸内地区・上久保内地区
・案内者：田近　淳氏　　鈴木　俊司氏（株式会社ドーコン）
　　黒沢　彰氏（明治コンサルタント株式会社）
　　佐々木　隆氏（上山試錐工業株式会社）
・参加者：総勢 30 名（うち案内者 4 名）
・内容：壮瞥町幸内地すべり・上久保内地すべりにて、地すべり地形、変状状況、対策工施工状況等の見学を実施した。

(7)広報部活動
研究発表会予稿集編集(4 月)、ホームページ運営、各種広報活動(通年)

(8)技術普及部活動
技術講習会の開催を計画していたが、新型コロナウイルスの影響により中止した。

(9)シニア会の活動
・日　　時：2022 年 12 月 8 日 15:00～17:00
・ハイブリッド開催
・参加者：20 名
・プログラム
1. 開会挨拶　　シニア会代表　横田　寛
2. 話題提供　「地すべり・電力・温泉・地熱の 40 数年」
　　稲月 恒夫氏（アーストラストエンジニアリング㈱ 調査部　技術顧問）
3. 質疑応答、フリートーキング
4. 閉会の辞

(10)若手の会の活動
新型コロナウイルスの影響により活動を行えなかった。

(11)対外(北海道地すべり学会)協力
①企画委員会（普及活動）
○山地災害防止キャンペーンパネル展
・日時：2022 年 5 月 25 日～26 日
・場所：北海道庁 1F ロビー道政広報コーナー
・主催者：北海道水産林務部林務局治山課
・参加者：200 名
・内容：林野庁が都道府県及び市町村と一体となって一般市民の防災意識の高揚に資するために行っている山地災害防止キャンペーン活動の一環として、地すべり模型の展示実演を行う予定であったが、対面による活動をとりやめて壁掛式・自立式パネルの展示を行った。
○岩見沢農業高校の出前授業
・日時：2022 年 7 月 1 日 9:00～17:00

・場所：当別町、月形町（道民の森神居尻地区、国道 451 号、当別川流域）
・対象：北海道岩見沢農業高等学校森林科学科 3 年生 37 名、教員 2 名
・地すべり学会参加者：北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所　石丸聡
和光技研（株）宿田浩司、
明治コンサルタント（株）溝上雅宏
（株）開発調査研究所　銭谷竜一
・内容：現地に実際に施工されている治山施設（法枠工、床固工、雪崩防止柵、スリットダム）を見学し、治山事業の重要性、工事の種類、設計の考え方を学習した。地すべり現象による路面変状を観察し、地すべり発生のメカニズムを学習した。地すべり現象による地形変状を観察し、地すべり対策工施工箇所を 2 箇所（①杭工、アンカー工＋擁壁工、②集水井工＋杭工）を見学した。新第三紀の堆積岩と第四紀の段丘堆積物の露頭を見学し、当別川流域の地質、地形の成り立ちを学習した。

○地すべり模型の出張展示実演（「ジオ・フェスティバル in Sapporo 2022」）
・日時：2023 年 2 月 23 日　9：00～17：00
・場所：札幌市生涯学習支援センター「ちえりあ」　6 階講堂
・主催：ジオ・フェスティバル in Sapporo 実行委員会
・参加者:180 名
・内容：1 回 15 分程度の展示実演、土砂災害 DVD の上映を行った。

②研究調査委員会
・日　　時：2023 年 2 月 10 日
・ハイブリッド開催
・参 加 者：71 名
・話題提供：
「テフラ層地震時地すべりの発生場」　　千木良　雅弘氏（深田地質研究所）
「一般国道 276 号千歳市美笛峠における岩盤崩壊について」 山田　司氏（ドーコン）

③技術委員会
○第 1 回委員会
・日時：令和 4 年 6 月 24 日　14:00～17:00
・場所：松崎ビル南 1 条ビルディング　2F 会議室
・参加者：10 名
・内容：第 3 回アンケート結果および今後の活動方針に関する話し合い

○第 2 回委員会
・日時: 令和 5 年 2 月 17 日　14:00～17:00
・場所：松崎ビル南 1 条ビルディング　2F 会議室
・参加者：10 名

・話題提供
「中央北海道日高帯における天神地すべりの地質学的特徴」
北見工業大学名誉教授 前田 寛之 様
「老朽化した集水井の補強対策事例 ～集水井内巻工法の紹介～」
（株）ジェイノース 石井 真治 様

11. 東北支部

(1)支部総会（コロナウイルス感染予防のためハイブリッド開催）
＊定足数 83 名(会員数 166 名の 1/2 以上)を満たし総会は成立

① 日　時　2022 年 5 月 13 日　15:30～17:00
② 場　所　株式会社復建技術コンサルタント 会議室
③ 参加者　リモート参加 8 名・委任状 92 名　計 100 名
④ 議　事　第一号議案　　2021 年度年度事業報告
第二号議案　　2021 年度収支決算報告及び監査報告
第三号議案　　2022 年度事業計画（案）
第四号議案　　2022 年度収支予算（案）
第五号議案　　役員改選の件
第六号議案　　東北支部運営規則改定の件
その他・報告事項

(2)会議等

① 役員会

・第 1 回役員会(2022 年 1 月 30 日　東北支部事務局会議室･リモート 9 名)
支部長人事、2022 年度事業計画及び山形県鶴岡市災害に関する協議

・第 2 回役員会(2023 年 3 月 10 日　東北支部事務局会議室･リモート 10 名)
2024 年度研究発表会及び現地見学会に関する協議ほか

② 幹事会

・第 1 回幹事会（2022 年 7 月 1 日　東北支部事務局会議室・リモート　15 名）
2022 年度事業計画についての協議
（講演会、地すべり現地検討会、斜面変動ワーキング、研修会、栗駒山麓ジオパークとの連携）

・第 2 回幹事会（2022 年 8 月 5 日　柳淵地すべり現地確認　8 名）
地すべり現地検討会開催地の現地確認及び開催方法に関する協議

・第 3 回幹事会（2023 年 2 月 24 日　東北支部事務局会議室・リモート　6 名）
2023 年度支部会員向け研修会の実施要領に関する協議

・第 4 回幹事会（2023 年 3 月 17 日　東北支部事務局会議室・リモート　31 名）
＊幹事会と合同開催
2022 年度事業報告・収支決算報告、2023 年度事業計画及び予算(案)ほかの協議
2024 年度研究発表会及び現地見学会開催に関する協議

③ 運営委員会（2022 年 3 月 31 日　メールによる議案書（案）の送付）

・第 1 回運営委員会（2022 年 8 月 3 日　東北支部事務局会議室・リモート　21 名）
2022 年度事業計画及び予算実行に関する協議、
2022・2023 年度東北支部体制及び事業実行方針についての協議

・第 2 回運営委員会（2022 年 12 月 13 日　東北支部事務局会議室・リモート　18 名）
2022 年度事業実行状況の報告、2023 年度事業計画に関する方針説明について

・第 3 回運営委員会（2023 年 3 月 17 日　東北支部事務局会議室・リモート　31 名）
＊運営委員会と合同開催
2023 年度総会議案書の審議、2024 年度研究発表会及び現地見学会開催に関する協議

(3)支部ワーキンググループ

今年度は前身である「斜面変動研究の次世代コロキウム」の運営方針を見直し、より若手や中堅技術者が参画しやすい開催を目指し「斜面変動研究ワーキング」と改称し、テーマの公募・絞り込みとともに開催方法の見直しを行うものとした。

(4)講演会

① 開催日時：2022 年 7 月 22 日　14：00～16：45

② 参加者　：　対面参加 14 名　リモート参加 105 名　　計 119 名（ハイブリッド開催）

③ 講　演

・基調講演　北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所　石丸　聡氏

「北海道の地すべり活動危険度評価と寒冷地特有の緩斜面周辺で発生する斜面崩壊について」

・山形大学名誉教授　八木浩司氏　「斜面防災危険度評価ガイドブック①」

・奥山ボーリング(株)　林一成氏　「斜面防災危険度評価ガイドブック②」

＊(公社)土木学会 CPD 認定　2.40 単位

(5)東北支部地すべり現地検討会

① 場　所　：山形県大蔵村「柳淵地すべり」

② 開催日・参加者：2022 年 10 月 7 日　参加 48 名

・テーマ　「大規模地すべり地帯で発生した諸現象から地すべり機構を考える」

・工事施工中の現場視察と 8 班によるグループ討議及び発表、総合討論を実施した。

(6)災害派遣調査：「令和 4 年 8 月山形県飯豊町で発生した土砂災害に係る災害調査」

2022 年 8 月にかけて山形県飯豊町で発生した豪雨災害に対して、(公社)砂防学会東北支部と合同で 2022 年 9 月 23 日～24 日に現地調査を行った（参加 2 名）。

(7)広報活動等

① 支部だより第 33 号の発行（2022 年 12 月 20 日）　印刷部数 235 部、発送部数 230 部

② 支部ホームページの更新、情報発信

③ 講師派遣

・秋田県地質調査業協会（秋田県と共催）

「令和 4 年度地質調査研修」(2022 年 7 月 29 日)　　奥山ボーリング（株）藤井　登氏

(8)関連団体との連携・地域貢献

① （一社）斜面防災対策技術協会

・機関紙「山が動く」への投稿　　国土防災技術（株）西尾克人氏

② 行事講演

・(一社)地盤品質判定士会東北支部　被災地見学会（2022 年 7 月 28 日、11 月 22 日）

・(公社)土木学会東北支部　「防災に関するシンポジウム」(2023 年 1 月 24 日)

12. 新潟支部

(1)2022 年度支部総会

2022 年 6 月 24 日開催（オンライン）、リモート参加 13 名、委任状 23 名

(2)新潟県地すべり災害記録 CD 改訂版の出版

2022 年 6 月 24 日、2022 年版を出版（2021 年に発生した地すべり災害記録を追加）

(3)北陸地方整備局との協定締結

2022 年 9 月 7 日締結

北陸地方整備局の所管施設における大規模地すべり災害に対して、迅速な調査に基づく原因究明や早期復旧のための技術支援を目的としたもの

(4)現地見学会

2022 年 11 月 10 日糸魚川市で開催、糸魚川静岡構造線沿いの斜面変動地形・地質を見学、日本応用地質学会北陸支部との共同開催、参加者は 14 名

(5)新潟県地すべり対策研究会への参加

2022 年 3 月 28 日技術部会及び総会開催（オンライン）、支部から 5 名参加

(6)新潟支部ホームページの管理・運営

支部の活動、行事、出版物等の情報を発信

(7)会議記録

今年度は幹事会としての会議は開催していない

必要に応じて幹事にメーリングリストで情報提供・意見交換した

13. 関東支部

(1)総会

2022 年 5 月 11 日 11:00～12:00

日比谷図書文化館（地下一階）大ホール

（東京都千代田区日比谷公園１－４）

出席者数 28 名　委任状数 80 名　計 108 名（定足数 87 名以上）

総会終了後、シンポジウム「地すべり技術の現状と課題」開催：参加者 81 名

・因果関係が判然としない地すべりから考える今後の研究課題

松浦純生（京都大学 名誉教授）

・地すべりの予知と防災マネジメント ダム関連の変動を例に－5W2H

小俣新重郎（日本工営(株) 顧問・技師長）

・地下水計測の課題 上野将司（応用地質(株) 社友）

・総合討論(コーディネータ：櫻井正明 関東支部前支部長)

・概要集発行

(2)現地検討会

テーマ：－譲原地すべりの概要と地すべり対策工－

期 日：2022 年 11 月 18 日

場 所：譲原防災センター（群馬県藤岡市譲原 1722-1）他

協 力：関東地方整備局利根川水系砂防事務所

参加者：19 名（有料）

内 容：譲原地すべりの概要と対策施設等を見学

(3)　(一社) 斜面防災対策技術協会 関東支部との共催事業

名 称：合同見学会「定峰地区の災害と対策工の見学」

期 日：2022 年 12 月 9 日

場 所：埼玉県秩父市定峰地区

主 催：(公社) 日本地すべり学会 関東支部・(一社) 斜面防災対策技術協会 関東支部

協 力：秩父市環境部森づくり課・埼玉県県土整備部河川砂防課

埼玉県秩父県土整備事務所

参加者：46 名（無料）

内 容：災害発生状況や対策工の内容について見学

(4)運営委員会・幹事会

① 運営委員会

・第 1 回　2022 年 4 月 15 日 オンライン会議　出席者 8 名

・第 2 回　2023 年 1 月 11 日 オンライン会議　出席者 12 名

②幹事会

・第 1 回　2022 年 4 月 25 日 オンライン会議

・第 2 回　2022 年 8 月 5 日 港区生涯学習センター　出席者 11 名

・第 3 回　2022 年 8 月 29 日 オンライン会議　出席者 12 名

・第 4 回　2022 年 12 月 22 日 オンライン会議　出席者 12 名

・第 5 回　2023 年 4 月 5 日 オンライン会議　出席者 16 名

(5)広報活動等

・関東支部 Web ページ更新

14. 中部支部

(1)支部総会

2022 年 5 月 12 日

・新型コロナウィルス感染症対策のため、集会による決議を行わず電子承認にて実施

・承認者数：72 名

なお、例年総会時に開催している支部運営委員会は、新型コロナ感染症対策のため中止した。

(2)アウトリーチ活動

① 「砂防技術者継続学習支援プログラム」への講師派遣(長野県依頼)

2022 年 5 月 31 日

・場　　所：長野市七二会支所、小松原地すべり(長野県長野市)

・対　　象：長野県職員

・出 席 者：1 名(講習内容「地すべり調査の基本～演習」)

・参 加 者：20 名

② 現地学習会

2022 年 6 月 18 日

・場　　所：小松原地すべり(長野県長野市)

・対　　象：長野西高等学校　天文・生物班(部)

・出 席 者：8 名(堤大三 支部長ほか 7 名)

・参 加 者：6 名(長野西高等学校 先生 1 名、学生 3 名、マスコミ 2 名)

③ 「環境防災学～地すべりってなに？～」への講師派遣

2022 年 12 月 5 日

・場　　所：長野工業高等専門学校(長野県長野市)

・出 席 者：6 名(講師 4 名、運営スタッフ 2 名)

・参 加 者：12 名(長野工業高等専門学校 先生 1 名、学生 11 名)

(3)現地見学会・検討会

2022 年 9 月 9 日

・場　　所：愛知県知多郡南知多町

・現地見学：山海向山区域、豊浜区域

・検 討 会：開催県代表挨拶

愛知県建設局砂防課長　大木克彦 氏

豊浜区域の調査・対策工について

基礎地盤コンサルタンツ(株)　近藤光広 氏，奈良啓示 氏

豊浜区域の事業を行うにあたって
愛知県南知多建設事務所　齋藤圭亮 氏
・参 加 者：30 名

(4) シンポジウム

2022 年 11 月 9 日
・場　　所：ホテル国際 21(長野市)、オンライン
・テ ー マ：気候変動に伴う土砂災害の現状と原因、今後の課題について
・基調講演：地震・豪雨等に伴う土砂災害の実態
国土交通省 水管理・国土保全局　砂防部 砂防計画課
地震・火山砂防室長　判田 乾一 氏
・講 演 1：地すべり地における地下水動態調査とその課題
富山県立大学 環境･社会基盤工学　教授　古谷 元 氏
・講 演 2：地すべり研究の今後と課題
日本地すべり学会 副会長（解説委員長）　榎田 充哉 氏
・パネルディスカッション：気候変動に伴う土砂災害現状と課題について
パネラー
国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部 砂防計画課　判田 乾一氏
富山県立大学 環境・社会基盤工学　教授　古谷 元 氏
日本地すべり学会 副会長(解説委員長) 榎田 充哉 氏
日本地すべり学会中部支部 顧問　平松 晋也 氏(前学会長)
コーディネーター
日本地すべり学会中部支部幹事　飯沼達夫 氏
・参 加 者：145 名(会場参加者 62 名、オンライン参加者 83 名)

(5) 災害協定

2022 年 9 月 7 日
「大規模災害発生時の相互協力に関する協定」を国土交通省北陸地方整備局と協定学会が締結
・協定学会：(公社)日本地すべり学会新潟支部、(公社)日本地すべり学会中部支部

(6) 自治体から依頼を受けた斜面調査(委託業務)

発注機関：長野県上田市
業務期間：2022 年 4 月 1 日～同 5 月 13 日
業務内容：調査対象斜面の安定性について資料照査及び現地調査を実施し報告書を提出

(7) 中部支部ニュース発行

2023 年 3 月 31 日

(8) 幹事会

2022 年 4 月 8 日 ：長野市生涯学習センター(出席者 17 名　※オンライン参加者 3 名を含む)
2022 年 8 月 19 日：長野市生涯学習センター(出席者 20 名 ※オンライン参加者 5 名を含む)
2022 年 10 月 21 日：長野市生涯学習センター(出席者 16 名　※オンライン参加者 1 名を含む)
2023 年 1 月 20 日 ：長野市生涯学習センター(出席者 20 名　※オンライン参加者 6 名を含む)

15. 関西支部

(1)第1回運営委員会

① 日時：2022年4月7日

② 場所：Zoom によるオンライン開催

③ 出席者：15名　　委任状：1名

④ 議事：

報　告

2021年度第2回運営委員会議事録、2021年度支部事業報告(案)、会誌「らんどすらいど」No.37、協賛会員名簿、2021年度支部決算報告(案)

議　題

2022年度事業計画(案)、2022年度予算計画(案)、運営委員選挙の管理委員の選出、その他

(2)若手研究発表会「若手が実践する新技術」＜萌芽的技術研究の部＞開催

① 日時：2022年6月27日 10：00～12：00

② 場所:Zoom によるオンライン開催

③ 主催：(公社)日本地すべり学会関西支部

④ 参加者：45名

⑤ 講演者とタイトル

伊藤 陽希（(株)ダイヤコンサルタント）

「宍粟市－宮町公文地区における大規模地すべり判読事例」

中島 昇（地研(株)）　「土砂流出が生じる0次谷の抽出法」

原田 隆弘（(株)ダイヤコンサルタント）　「斜面崩壊関連の新技術への取り組み」

総合討論

(3) 技術研究集会「若手が実践する新技術」＜実践的技術研究の部＞開催

① 日時：2022年6月27日 13：00～17：00

② 場所：Zoom によるオンライン開催

③ 主催：(公社)日本地すべり学会関西支部

④ 後援：(公社)砂防学会関西支部、(公社)地盤工学会関西支部

⑤ 参加者：208名

⑥ 講演者とタイトル

〈基調講演〉

・地形画像診断の最前線　　東北大学災害科学研究所 原田 強

〈話題提供〉

・インフラメンテナンスに用いる表面波探査　　太田ジオリサーチ 美馬健二

・衛星リモートセンシング技術を活用した防災・減災の取り組み

日本工営（株）衛星情報サービスセンター 徳永 博

〈事例紹介〉

・土石流模型実験への SfM 解析の適用　　復建調査設計（株） 三浦一宏

・地震計で捉える斜面崩壊 －可能性と限界－　　京都大学防災研究所 土井一生

〈総合討論〉

・新技術が革新する地すべり防災

司会：中井真司（復建調査設計（株））、パネリスト：話題提供者

・オンライン懇親会（SpatialChat を使用）

(4)関西支部　総会

② 日時：2022 年 4 月 11 日～4 月 17 日

③ 開催方法：メール審議

④ 議事

報　告

2021 年度活動報告、2021 年度決算報告、2022 年度活動計画、2022 年度予算、その他

(5)第 2 回運営委員会

① 日時：2022 年 11 月 1 日

② 場所：Zoom によるオンライン開催

③ 出席者：14 名　　委任状 6 名

④ 議事

報告

2022 年度第 1 回運営委員会議事録、2022 年度支部事業報告、2022 年度今後の事業予定

議題

2023 年度支部行事について、その他

(6)2022 年度（公社）日本地すべり学会関西支部現地討論会

「山陰で発生した災害の現地検討会」開催

① 見学会日時：2022 年 10 月 21 日

② 見学場所：忌部地すべり、千本ダム、乃白地すべり

③ 討論会日時：2022 年 10 月 22 日

④ 討論会場所：島根大学大学会館３階大集会室

⑤ 主催：(公社)日本地すべり学会関西支部

⑥ 共催：島根大学自然災害軽減プロジェクトセンター・島根大学総合理工学部地球科学科

⑦ 後援：中国地質調査業協会島根県支部・公益社団法人 砂防学会中四国支部

⑧ 見学会参加者：22 名

⑨ 討論会参加者：64名

⑩ 講演者とタイトル

・話題提供

1) 「出雲市小田災害（2021 年災害：国道 9 号・JR が不通となった箇所）」

島根大学総合理工学部地球科学科_小暮哲也

2) 「忌部地すべり・乃白地すべり・北浦地すべり」

藤井基礎設計事務所_斉藤龍太

3) 「菅浦地すべり他（2021 年災害）」

丸亀城および石垣崩落地，PR センター・討論

(7) 若手技術者支援企画「崩壊した丸亀城石垣とサヌカイト山の地すべり地形」勉強会

① 勉強会日時：2022 年 11 月 4 日

② 見学場所：丸亀城および石垣崩落地、PR センター、金山

③ 主催：(公社)日本地すべり学会関西支部

④ 共催：京都大学防災研究所徳島地すべり観測所

⑤ 参加者：8 名

(8)「らんどすらいど３８」会誌の発行・発送

①日時：2023 年 2 月 13 日

②執筆者とタイトル

四国・大歩危地域の地形・地質・斜面災害
－地球科学研究の最前線と地すべりの研究－　　山崎　新太郎（京都大学防災研究所）

「崩壊した丸亀城石垣とサヌカイト山の地すべり地形」勉強会
（第一回若手技術者支援企画）開催報告　　山崎　新太郎（京都大学防災研究所）

地震計による斜面崩壊の検知事例
－令和２年豪雨時の長野県喬木村の場合－　　土井　一生（京都大学防災研究所）

編集後記　　山崎新太郎（京都大学防災研究所）

16. 九州支部

(1)支部幹事会

・開催日：2022 年 5 月 19 日

・参加者：出席 17 名、委任 20 名

(2)支部総会

・開催日：2022 年 6 月 1 日～6 月 8 日（Web 会議）

・参加者：53 名

・議　題

第１号議案　2022 年度支部役員選出

第２号議案　2021 年度決算報告および監査報告

第３号議案　2022 年度予算（案）

第４号議案　2022、2023、2024 年度の総会・講演会開催地

第５号議案　活動方針について

その他

報告・懇談事項

資料

賛助会員状況、支部規約、R4 年度沖縄会の役員等の名簿、九州支部ホームページについて、2021-2022 （公社）日本地すべり学会代議員名簿、九州支部ホームページについて、学会メーリングリストへの登録のお願い

(3)支部技術検討会（沖縄会の活動）

日　　時　2022 年 12 月 16 日(金)　14:10～17:00

開催場所　沖縄県男女共同参画センターてぃるる　ホール

参 加 者　66 名

司会：安里　拓（(公社）日本地すべり学会九州支部沖縄会、(株）興洋エンジニアリング）

開会挨拶　(14:00～14:10)

木村　匠（(公社）日本地すべり学会九州支部沖縄会会長、琉球大学農学部）

座長：砂川　尚之（(株）日興建設コンサルタント)、副座長：井上　英将（(株）南城技術開発）

基調講演

中城村当間地区における地すべり現地討論会について　(14:10～14:30)

恩河　大貴（沖縄県土木建築部海岸防災課 災害砂防班）

一般発表

島尻泥岩風化層における災害復旧事例報告　(14:30～14:55)

新川　茂（(株) ホープ設計）

R4 年災比屋根災害復旧事例報告　(14:55～15:20)

城間　直也（(株) 興洋エンジニアリング）

休　　憩　(15:20～15:30)

島尻層泥岩斜面におけるリフトオフ試験の事例報告　(15:30～15:55)

中戸　章友（(株) 日興建設コンサルタント）

補強土壁の適用と多数アンカーの新技術について　(15:55～16:20)

中下　真吾（岡三リビック（株））

座長：木村　匠（(公社) 日本地すべり学会九州支部沖縄会会長、琉球大学農学部）

総合討論　(16:20～17:00)

閉会挨拶

我那覇　忠男（(公社) 日本地すべり学会九州支部沖縄会副会長、(株) ホープ設計）

(4)九州支部ホームページの管理・運営

・支部役員・幹事の更新、支部活動・行事のお知らせ、動画・PDF 等の共有

(5)アウトリーチと若手会員活性化に関する活動

・地すべり・斜面防災におけるアウトリーチ、若手会員に関する活動について、担当の香月副支部長と支部事務局で打ち合わせを行った

・2022 年度の福岡大会で新規会員獲得の活動を行った

・2023 年度の支部現地見学会等で若手～シニアが討論できる場を設ける予定

(6)共催・後援事業

・2022 年度 現場見学会

共　催：(一社)斜面防災対策技術協会九州支部、九州地区地すべり防止工事士会

開催日：2022 年 9 月 30 日（金）第 61 回研究発表会福岡大会の現地見学会に共催参加

・先進建設・防災・減災技術フェア in 熊本 2022

主催：先進建設・防災・減災技術フェア in 熊本 2022 開催委員会（熊本県・熊本市・一般社団法人地域産業活性協会）

後援：(公社) 日本地すべり学会九州支部ほか

開催日：2022 年 11 月 9 日-11 月 10 日

会場：グランメッセ熊本

17. 会員数対策

(1)若手対策 WG

◆地すべり学会 BIM/CIM ネットワーク

【ネットワーク会合】

・第２回オンライン会合　(2022 年 5 月 26 日開催)

テーマ：地すべり災害対応の BIM/CIM モデルの作成・操作デモンストレーション

講演者：国立研究開発法人土木研究所　土砂管理研究グループ　地すべりチーム

交流研究員　今江健太氏、　北村和輝氏

・第３回オンライン会合　(2022 年 9 月 1 日開催)

テーマ：①地すべり防止施設設計における CIM 活用の事例報告

②グラウンドアンカー工の 3 次元設計事例

講演者：①日本工営株式会社　山口裕二氏
②株式会社ワールド測量設計　花本孝一郎氏

・第４回オンライン会合　（2023 年 1 月 26 日開催）

講演内容：3D の地質，地下水等モデリングの概要およびその手法
3D モデリングソフトの使い方
ソフトウェアの特徴や具体的な活用事例の紹介
特に地すべりに関わる事例紹介

講演者：①山根裕之氏（伊藤忠テクノソリューションズ株式会社）：GEORAMA のご紹介
②西山昭一氏（応用地質株式会社）：GeoTools のご紹介
③関家史郎氏（五大開発株式会社）：MakeJiban のご紹介
④濱崎英作氏（株式会社アドバンテクノロジー）：ADCALC 3D のご紹介

【オーガナイザー・ミーティング】

・第４回　2022 年 4 月 21 日（Web 開催）

議題；BIM/CIM ネットワーク第２回オンライン会合（5 月 26 日（木）13:30～14:30 開催）で予定する「BIM/CIM モデルの作成・操作デモンストレーション」の内容について、土研の今江交流研究員から説明、オーガナイザー間で確認
Teams でデータ共有するにあたり、そのルールについて討議

・第５回　2022 年 6 月 28 日（Web 開催）

議題；オーガナイザーに新メンバー追加（土研地すべりチームの奥山悠木主任研究員）
第３回ネットワーク会合の日程と内容について議論
Teams による情報共有について、問題点・課題等について議論、当面の運用ルールについて整理・共有

・第６回　2022 年 8 月 4 日（Web 開催）

議題；第３回ネットワーク会合のテーマ・内容の確認と、日程の確認
第３回ネットワーク会合後に行うアンケート内容の確認
福岡大会会場にて、対面でオーガナイザー会議を行うことを決定

・第７回　2022 年 10 月 21 日（Web 開催）

議題；第４回ネットワーク会合開催に向けて、テーマ・内容について議論
Ｒ５年度の実施を考えている「現地実習」について議論

◆若手対策事業

・各支部が主催する行事として実施（各支部報告参照）

(2) シニア対策 WG

・コロナ禍により 2022 年度活動なし

18. アウトリーチ

2022 年 4 月 15 日　アウトリーチ担当理事とのメール情報交換 1 回目
2022 年 5 月 31 日　アウトリーチ担当理事とのメール情報交換 2 回目
2023 年 2 月 8 日　　各支部担当に以下のアンケート実施
①　活動状況　②2023 年度実施予定　③アウトリーチ活動に関する意見
2023 年 2 月 20 日　上記結果整理と連絡会への報告

事業報告の附属明細書

「事業報告の内容を補足する重要な事項」は特にないため、附属明細書は作成しない。